

平和

小学校高学年 中学校 高校

社会 地歴 総合 道徳

NHKスペシャル 73分

アニメドキュメント あの日、 僕らは戦場で～少年兵の告白～ (2015年放送)

その時 歴史が動いた 43分

さとうきび畑の村の戦争 (2004年放送) ～新史料が明かす沖縄戦の悲劇～



この番組の良さ

少年ゲリラ部隊
「護郷隊」

沖縄戦の半年前、
14歳～17歳の少年
たちが中心となり、
故郷を守ることを

を目的とした部隊「護郷隊(ごきょうたい)」が結成されました。しかし実態は、最前線でアメリカ軍と戦う少年ゲリラ部隊でした。

番組では、少年たちが本土防衛の最前線として激しい戦いに巻き込まれていく様子や、沖縄戦の過程を知ることができます。

番組活用のポイント

平和学習はもちろん人権教育の教材として

「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」が目標とされる人権教育の視点から、これらの番組を活用することもできます。

本番組では、少年たちが、「お国のために」という大義名分のもと、過酷な訓練を受け、戦闘を繰り返す中で、徐々に人間らしい気持ちを失い、「妄動」の状態に陥っていく様子をうかがい知ることができます。

アニメーションでの再現映像や証言映像の視聴を通して、戦争が少年たちにどのような影響を与えていったのかを知り、人権と平和、戦争について、より主体的に考えることができます(P.33参照)。



この番組の良さ

西原村で起こった
沖縄戦の悲劇

1945年9月2
日、日本軍が連合
軍への降伏文書に
調印し、沖縄戦は

公式に終結します。県民の4人に1人、10万人近くの一般住民が犠牲となりました。番組では、犠牲率が47%と県内最大であった西原村を舞台に、新たに見つかった史料や住民の証言から、村人が戦争に巻き込まれた経緯を知ることができます。

番組活用のポイント

悲惨な沖縄戦を、実感をもって学ぶために

沖縄戦には、特徴的なポイントがあります。国内最大規模の地上戦が展開されたこと、多くの一般住民が犠牲になったこと、そして、少年や高齢者までが戦闘員として巻き込まれたことなどです。

番組『さとうきび畑の村の戦争』では、これらのポイントを西原村(現・西原町)の様子から知ることができます。村に残っていた男性が、防衛隊員の現地召集で「斬り込み」攻撃に動員されていったこと。高齢者と女性、幼児が、南部に追いつめられ集団自決を余儀なくされていったこと。これらの事実を、体験者の証言と合わせて聞くことにより、戦争の激しさや恐ろしさ、悲しみやつらさを、実感をもって理解することができます。

学習展開例

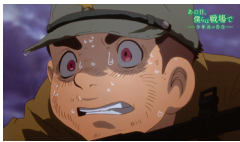
対象校種：小学校 授業時間 45分


 沖縄県立
 総合教育センター
 研究主事 甲斐 崇

新着

少年兵から見た沖縄戦、戦争がもたらした影響について考えよう

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①現在の生活と、太平洋戦争当時の生活を比べる。 ・現在の日常生活や週末の過ごし方 ・戦争当時の生活 ②沖縄戦では、普通の少年たちが、どのように戦争に巻き込まれていったのかを予想し、学習課題をまとめる。	○戦争中の中学生や高校生の生活はどのようなものだったのかを、自由に想起させたい。その上で、何に困っていたのか、何が苦しかったのかを考えさせたい。 ○ペアやグループなどで話し合い、児童なりの予想を立てるなど、目的意識をもって番組を視聴させる。
20分	③気付いたことをメモしながら、番組を視聴する。  視聴 護郷隊に動員され、過酷な訓練を受ける少年たちの様子。 (7分43秒～17分2秒)  アメリカ軍との激しい戦闘の中、次々と亡くなっていく護郷隊の仲間。 (45分59秒～52分38秒)	○授業は1時間扱いとし、アニメーションを中心とした部分視聴を行う。 ○左の2つの場面を部分視聴させる。 ○視聴前や視聴後に、必要に応じて、部分視聴した前後の番組内容についての補足説明を行ってもよい。 ○護郷隊の少年たちに何が起きたのかを、整理しながら視聴させる。
15分	④視聴後、少年たちがどのように戦争に巻き込まれていったのかを整理し、確認していく。 ⑤戦争（沖縄戦）は、少年たちにどのような影響を与えたのか話し合う。	○平和な生活をしていた少年たちが、どのように護郷隊に入隊したのか、どのような訓練を受けたのか、どのようにアメリカ軍と戦ったのかを確認する。 ○激しい訓練や戦闘の中で少年たちが「妄動」の状態に陥っていった様子から、戦争が子供たちに与えた影響や被害について考えさせたい。また、それらから戦争が国民に与えた影響へとつなげたい。
5分	⑥番組の視聴や話し合いから、考えたことや思ったことをノートやワークシートにまとめる。	○加害者であり、被害者でもある少年たちの姿を通して、沖縄戦が人々の生活に与えた影響、そして戦争が何をもたらすのかについて、自分の考えを整理する時間とする。 ○時間に応じて発表させる。

コラム

他の資料を活用して沖縄戦をさらに深く学ぶ

体験者の証言を得る資料として、NHK戦争証言アーカイブスの特集「沖縄と太平洋戦争」をぜひご利用ください (<http://www.nhk.or.jp/shogenarchives/special/vol3.html>)。併せて、沖縄タイムス社、首都大学東京・渡邊英徳研究室、GIS沖縄研究室が共同制作し、公開している「沖縄戦デジタルアーカイブ 戦世からぬ伝言」がおすすめです。ここでは、証言・データ・地図等で、沖縄戦を体系的に理解できます (<http://app.okinawatimes.co.jp/sengo70/index.html>)。